

地域密着型サービス 運営推進会議 報告書

施設名：湖水苑

施設種類：グループホーム 小規模多機能型居宅介護施設（該当に○）

日時： 29年 12月 13日 14時～15時

会場： 湖水苑レイクホール

参加者

利用者代表	0人	有識者	2人
利用者家族	0人	高齢者あんしん支援センター職員	1人
地域住民の代表	1人	出雲市職員	1人
その他〔事務長・介護支援専門員兼管理者、デイ管理者、デイ相談員〕			3人

1：利用状況

ご利用状況現在

男性1名、女性17名（空床0）平均介護度2.5 平均年齢 86.7才
湖陵町8名、佐田町2名、大津町1名、外園町1名、多伎町1名
所原町1名、大社町1名、塩冶町2名、今市町1名

2：近況報告

看護大学実習



今年度も看護大学学生さんの実習を受け入れています。ご利用者とのコミュニケーションから、認知症の理解、

グループホームの施設としての役割などを学習されます。最終日には学生さんの考えたレクリエーション等もして頂いています。

外出



湖陵町常楽寺の菊の展示会場と須佐神社へドライブへ行きました。ひんやりと透き通った空気を感じながら、秋の景色を楽しみました。

屋内活動



屋内では卓上スポーツがご利用者の皆さんの楽しみになっています。風船バレーや卓球をして楽しんでおられます。普段はあまり見られない表情や動きを見ることができて、職員も元気をもらうことが出来ました。

事例紹介

*106歳 女性 要介護5

9月下旬より徐々に食事量減り、体力低下する。痰が多く、喘鳴あり、血液中の酸素量低下。ご家族、主治医と相談の後、9月28日市民病院受診し入院となる。肺炎、心不全、老衰の為、生命の危険あり。

グループホーム全職員が数回に分けてお見舞いに行き、様子を見守る。

3週間後、徐々に回復され、食事を再開していると病院より連絡あり。

10月30日退院となる。

*96歳 男性 要介護1 慢性閉塞性肺疾患、腎不全

全身浮腫、痛み訴えあり。家族、主治医と相談し積極的な治療はしない方向で意見を統一する。

10月下旬より痛みの訴え多くなる。主治医と相談し痛み止めの薬の処方あるが、痛みの改善に至らず。

本人の訴え強く、施設での対応困難と考え、家族、主治医と再度検討し、緩和ケアを目的に11月1日入院。

11月12日病院にて死去。
(11月28日 氏の妻 要介護2 入所)

3: 今後の予定

・ 次回の運営推進会議は2月14日です。

* 参加者より

- ・ 利用者のインフルエンザについて質問あり
各主治医の先生により全員摂取している
- ・ 地元の祭り参加への呼びかけあり